

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画  
全体評価まとめ（令和3年度～令和5年度）

評価項目	R3	R4	R5
1 地域包括ケアシステムの深化・推進			
(1) 自立支援、介護予防・重度化防止の推進	B	B	B
(2) 介護給付等対象サービスの充実・強化	B	A	A
(3) 在宅医療の充実および在宅医療・ 介護連携を図るための体制の整備	B	B	B
(4) 日常生活を支援する体制の整備	B	A	A
(5) 高齢者の住まいの安定的な確保	B	A	A
2 認知症施策の推進			
認知症施策の推進	A	A	B
全体評価			
	B	A	A

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

全体評価
B

担当部署評価

令和3年度、令和4年度は感染状況に左右される事業が多くみられたが、令和5年度には感染症の影響は受けずに取り組める事業が増えてきた。また、第8期計画期間中に、各支援機関との連携をスムーズに取ることにより多角的な支援ができた事業や、内容をさらに推進していく事業もみられる。各事業において、評価する中で見えてきた各課題や、第9期計画策定においてみえてきた各課題に対し、今後も各関係機関と協働して対応していく。

第9期計画に向けて、さらなる介護予防事業の推進、地域活動の活性化、住み慣れた地域での生活等が行えるよう努めていく。

（評価委員会評価は裏面に記載）

評価の達成度、総合評価の指標としてA～Dの指標が設定されているが、「A 達成できた」「B おおむね達成できた」「C あまり達成できなかった」「D 達成できなかった」という表現での4段階の評価は難しい。「B おおむね達成」の下が「C あまり達成できなかった」ということで、「B おおむね達成できた」の該当する範囲が広い。第9期計画評価時には、評価に使用する達成度の表現についてもご検討いただきたい。

第8期計画における公助の面では、保健医療福祉の分野において、もーやっこネットワークシステムが稼働し支援できている。公助と互助、共助の両輪をうまく支えていくために、地域の力を持続可能なものにしていくことが今後の課題である。

感染症に対する制限がなくなった令和5年度現在でも、市民の気持ちとしては感染症に対する不安をもたれている方も多い中で、地域の支え合いにおいても大きな影響を受けた3年間であった。当初描いていた第8期計画は、感染症の影響で達成できなかった面もあり、第8期計画を「A 達成できた」ということは難しく、「B おおむね達成できた」が適している。感染症が流行している中で、事業を実施するにあたり代替策を考える等工夫をした点は非常に評価できる。第9期の事業実施について、さらに充実していただきたい。